

リハビリテーション科では、これまでに以下の演題発表を行ってきました。

2017年：「東広島市における骨粗鬆症リエゾンサービスの当院の取組みと現状」

(第19回日本骨粗鬆症学会 大阪:PT原田香)

「大腿骨頸部・転子部骨折術後患者の術後腎機能はFunctional Independence Measureの改善に影響を及ぼすか」

(第52回日本理学療法学会 千葉:PT平田尚久)

「局所運動負荷後の高濃度人工炭酸泉浴が生体に与える影響」

(第54回日本リハビリテーション医学会学術集会 岡山:PT平田尚久)

「高濃度人工炭酸泉下肢局所浴が大腿骨頸部骨折術後患者の運動機能およびリラックス効果に与える影響」(論文)

(理学療法の臨床と研究 26巻p.47-51 PT平田尚久)

「自立支援に向けた連携強化の取組み」

(第23回広島県作業療法士学会 広島:OT有田和世)

2018年：「他職種による退院支援により自宅退院が可能となった脳梗塞後片麻痺を併存した高齢者の心不全急性増悪の1例」

(第3回日本心臓リハビリテーション学会中国支部地方会 広島:OT佐渡浩介)

「妊娠中の息苦しさに対する理学療法介入に向けた検討-グラウンデッドセオリーによる要因分析-」

(第55回日本リハビリテーション医学会学術集会 福岡:PT杉原和也)

「注意障害と感覚障害が重複した大腿骨頸部骨折患者に対するイメージを利用した介入」

(第52回日本作業療法学会 愛知:OT有田和世)

「非定型右大腿骨骨幹部骨折を生じた症例に対する骨粗鬆症指導と在宅復帰を目指したリハビリテーションの取組み」

(第20回日本骨粗鬆症学会 長崎:PT永吉世弥)

「骨粗鬆症マネージャーによる大学生を対象とした骨の健康に関する啓発活動と骨密度測定会の取組み」

(第20回日本骨粗鬆症学会 長崎:PT平田尚久)

「高濃度人工炭酸泉下肢局所浴の湯温の違いによる局所効果」(論文)

(運動器リハビリテーション 28巻4号 PT平田尚久)

「高濃度人工炭酸泉下肢局所浴の湯温の違いによる血圧、脈拍数、自律神経系、精神心理に対する効果」(論文)

(ヘルスプロモーション理学療法研究 第8巻第2号p.77-83 PT平田尚久)

2019年：「法人内の在宅支援事業者を含めた心不全サポートチームの取り組み」

(第44回広島県病院学会 広島：PT仲本遼太郎)

「Influence of posture on respiratory metabolism in women with simulated pregnancy using the pregnancy external-diagnosis prosthesis (妊婦外診モデルを用いた擬似妊婦の状態が呼吸代謝に及ぼす影響)」

(World Confederation for Physical Therapy CONGRESS 2019 Geneva:PT杉原和也)

「A case study of a patient with a right oculomotor nerve paralysis who was effectively treated with facilitation exercises using the vestibulo-ocular reflex (右動眼神経麻痺による眼球運動障害に対する迷路性眼球反射促進法が効果的であった症例)」

(13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress Kobe:PT平田尚久)

「Collaborative approach to medicine reduces anxiety in the wife of person with severe (包括的支援が妻の不安を軽減し、在宅復帰へつながった重症COPD患者の一例)」

(13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress Kobe:PT杉原和也)

「虚血性心疾患に対するCABG予定中に心原性脳塞栓症を発症した症例に対する疾病管理と理学療法」

(第25回日本心臓リハビリテーション学会学術大会 大阪：PT平田尚久)

「心疾患に対する管理が必要であった 大腿骨頸部骨折術後患者に対して、継続した関わりが有効であった症例」

(第25回日本心臓リハビリテーション学会学術大会 大阪：PT矢吹晃輝)

「東広島市における行政・地域と連携した骨粗鬆症マネージャーの取り組み～一般の地域住民、子育て世代の女性、大学生に対する骨密度測定会～」(第21回日本骨粗鬆症学会 兵庫：OT谷山貴宏)

「当法人における骨粗鬆症リエゾンサービスの1次予防と2次予防に関する取り組み」

(第6回日本予防理学療法学会学術大会 広島：PT平田尚久)

「ADL全介助の患者が家族や多職種との連携により在宅での生活が可能となった症例」

(第24回広島県理学療法士学会 広島：PT近藤穂波)

「あぐら坐位が呼吸機能に与える影響について」

(第24回広島県理学療法士学会 広島：PT長井卓也)